

ドヴラートフ レニングラードの作家たち (2018)

DOVLATOV

メディア 映画
ジャンル ドラマ 伝記
製作国 ロシア
色彩 Color
時間 126分
初公開日 2020/06/20
公開情報 太秦
映倫 G

【キャッチコピー】

なにがあろうと
オレたちは存在する
これからも

【解説】

共産主義体制下のソ連を舞台に、20世紀を代表するロシア人作家の一人セルゲイ・ドヴラートフの作家人生を決定づけた6日間を描いた伝記ドラマ。主演はセルビア人俳優のミラン・マリッチ、共演にダニエラ・コズロフスキー、スヴェトラナ・ホドチェンコワ、エレナ・リャドワ。監督は「宇宙飛行士の医者」のアレクセイ・ゲルマン・Jr。

1971年、レニングラード。作家として世に出ることを夢見ながらも、生活のためにジャーナリストとして働き、その傍らで創作活動に勤しむセルゲイ・ドヴラートフ。詩人プロツキーらと互いの才能を認め合うものの、表現の自由はますます抑圧され、発表の場を得られない現実に、作家としての信念にも迷いが出てくるドヴラートフだったが…。

【クレジット】

監督	アレクセイ・ゲルマン・Jr	Aleksei German ML.	
製作	アンドレイ・サヴェリエフ	Andrey Savelev	
	アルチョム・ヴァシリエフ	Artem Vasilyev	
	コンスタンティン・エルンスト	Konstantin Ernst	
脚本	アレクセイ・ゲルマン・Jr	Aleksei German ML.	
	ユリア・トゥピキナ	Yulia Tupikina	
撮影	ウカシュ・ジャル	Lukasz Zal	
出演	ミラン・マリッチ	Milan Maric	セルゲイ・ドヴラートフ
	ヘレナ・スイェツカ	Helena Sujecka	エレナ
	アルトゥール・ベスチャスヌイ	Artur Beschastny	ヨシフ・プロツキー
	ダニエラ・コズロフスキー	Danila Kozlovsky	ダヴィッド
	アントン・シャギン	Anton Shagin	アントン
	スヴェトラナ・ホドチェンコワ	Svetlana Khodchenkova	若手女優
	エレナ・リャドワ	Elena Lyadova	文芸雑誌の編集者